

スポーツが 下田郷の新たな 未来を創る・合宿誘致

Vertical Kilometer
Canoe Wild Water
Soccer Camp
University Baseball Camp

合宿地として多くの人を呼び込み、
下田郷ならではの体験をしてみよう！
地域の魅力を発信することができ、
また、下田郷に経済的なメリットを
生み出しています。



Soccer Camp

下田郷でスポーツ合宿

小・中学生の サッカー合宿

昨年度は合宿だけでなく、試合に参加したチームを含めて、延べ2600人の子どもたちがやって来た！

関東圏の小・中学生の強豪サッカーチームが下田郷に合宿に訪れ、さらに、そのチームとの試合を目的に、県内はもとより、近県からも多くの選手たちが集まっています。

■合宿誘致のきっかけ

サッカー合宿が行われるきっかけをつくったのは、3年前に地域おこし協力隊制度を利用して神奈川県から移住した会津 泰成さんです。会津さんは、関東圏のサッカークラブと親交があり、現在は下田郷で唯一の少年少女サッカークラブ「エストレヤ下田」の代表も務めています。

■会津 泰成さんのコメント



下田郷の魅力は、コンパクトにさまざまな体験ができること。山、川、田んぼ、



れていない自然を生かせないかと考え、思い付いたのが「自然体験型合宿」でした。

■合宿地としての環境を整える

合宿誘致を実現するために、旧荒沢小学校のグラウンドの芝生化や、選手の手前側に地域の集会所を利用することで受け入れ体制を整えました。これまで利用されていなかった、あるいは利用法が限られていた施設を活用し、合宿に来た人だけでなく、地域にとってもメリットのある方法を検討していきました。

また、三条市サッカー協会、地元サッカークラブ『県央FC』などと協同で、合宿中のチームの試合相手を集め、関東圏からの合宿誘致に成功しています。

温泉施設など、少ない移動距離で足を運ぶことができます。サッカー専用グラウンドがないなど、施設は限られるため、同時期に合宿として誘致できるのは1団体のみですが、それが、選手たちにとっては、プライベートルームのような特別感につながっているようです。

また、お弁当は地元の仕出し屋さん、食べるお米は下田産米、お風呂はいい湯らいて、滞在場所は地元自治会の集会所を使わせてもらっています。そして、サッカー以外の体験活動では、カヌーや魚のつかみ取り、休耕田での泥んこサッカー、さつまいもの収穫などを取り入れ、下田郷の魅力を発信につなげています。

嬉しかったのは、お米のおいしさに感動して、個人的に購入した人がいたことです。今後も、合宿をする側、受け入れる側の双方にとって良い影響を及ぼせるように取り組んでいきます。